

II 調査結果の概要

1 総括

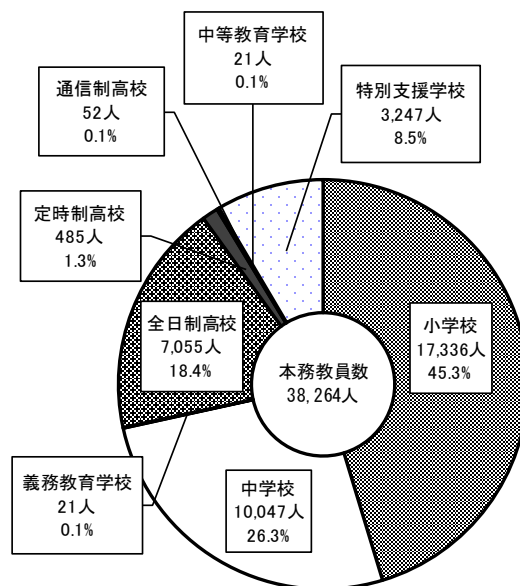
令和元年10月1日現在の県内公立学校の本務教員数は38,264人でした。

学校種別教員数をみると、小学校が最も多く、教員数全体の45.3%を占めています。以下、中学校が26.3%、全日制高等学校が18.4%、特別支援学校が8.5%、定時制高等学校が1.3%、義務教育学校、通信制高等学校及び中等教育学校が0.1%でした。

男女別構成比をみると、男性教員の割合が最も高いのは高等学校（全日制、定時制及び通信制合計）で68.5%、女性教員の割合が最も高いのは小学校で61.3%でした。

年齢構成をみると、小学校、中学校及び特別支援学校は30歳代の割合が最も高く、いずれも30%程度を占めています。高等学校は50歳代の割合が最も高く、34.9%でした。

図1 学校種別教員数



第1表 本務教員数、平均年齢及び男女比

区分		本務教員数(人)			平均年齢(歳)			男女比(%)		
		令和元年度	平成28年度	増減	令和元年度	平成28年度	増減	令和元年度	平成28年度	増減
合計	計	38,264	37,878	386	41.9	43.1	△1.2	100.0	100.0	-
	男	19,065	19,055	10	43.0	44.5	△1.5	49.8	50.3	△0.5
	女	19,199	18,823	376	40.8	41.8	△1.0	50.2	49.7	0.5
小学校	計	17,336	17,124	212	40.1	41.4	△1.3	100.0	100.0	-
	男	6,701	6,581	120	40.6	42.2	△1.6	38.7	38.4	0.3
	女	10,635	10,543	92	39.9	40.9	△1.0	61.3	61.6	△0.3
中学校	計	10,047	10,165	△118	42.4	43.8	△1.4	100.0	100.0	-
	男	5,755	5,898	△143	42.9	44.6	△1.7	57.3	58.0	△0.7
	女	4,292	4,267	25	41.7	42.6	△0.9	42.7	42.0	0.7
義務教育学校	計	21	...	-	44.2	...	-	100.0	...	-
	男	10	...	-	49.0	...	-	47.6	...	-
	女	11	...	-	39.8	...	-	52.4	...	-
高等学校計	計	7,592	7,679	△87	45.4	46.4	△1.0	100.0	100.0	-
	男	5,198	5,349	△151	46.4	47.3	△0.9	68.5	69.7	△1.2
	女	2,394	2,330	64	43.4	44.2	△0.8	31.5	30.3	1.2
全日制	計	7,055	7,131	△76	45.6	46.5	△0.9	100.0	100.0	-
	男	4,808	4,931	△123	46.5	47.5	△1.0	68.2	69.1	△0.9
	女	2,247	2,200	47	43.5	44.2	△0.7	31.8	30.9	0.9
定時制	計	485	490	△5	43.0	43.7	△0.7	100.0	100.0	-
	男	352	377	△25	43.7	44.0	△0.3	72.6	76.9	△4.3
	女	133	113	20	41.4	43.0	△1.6	27.4	23.1	4.3
通信制	計	52	58	△6	53.8	54.4	△0.6	100.0	100.0	-
	男	38	41	△3	55.0	55.8	△0.8	73.1	70.7	2.4
	女	14	17	△3	50.6	51.1	△0.5	26.9	29.3	△2.4
中等教育学校	計	21	...	-	38.7	...	-	100.0	...	-
	男	12	...	-	37.6	...	-	57.1	...	-
	女	9	...	-	40.3	...	-	42.9	...	-
特別支援学校	計	3,247	2,910	337	41.1	42.7	△1.6	100.0	100.0	-
	男	1,389	1,227	162	41.9	44.4	△2.5	42.8	42.2	0.6
	女	1,858	1,683	175	40.4	41.5	△1.1	57.2	57.8	△0.6

図2 学校種別教員の男女比

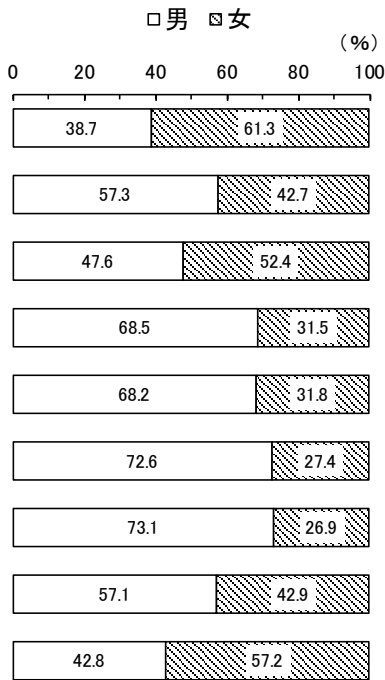
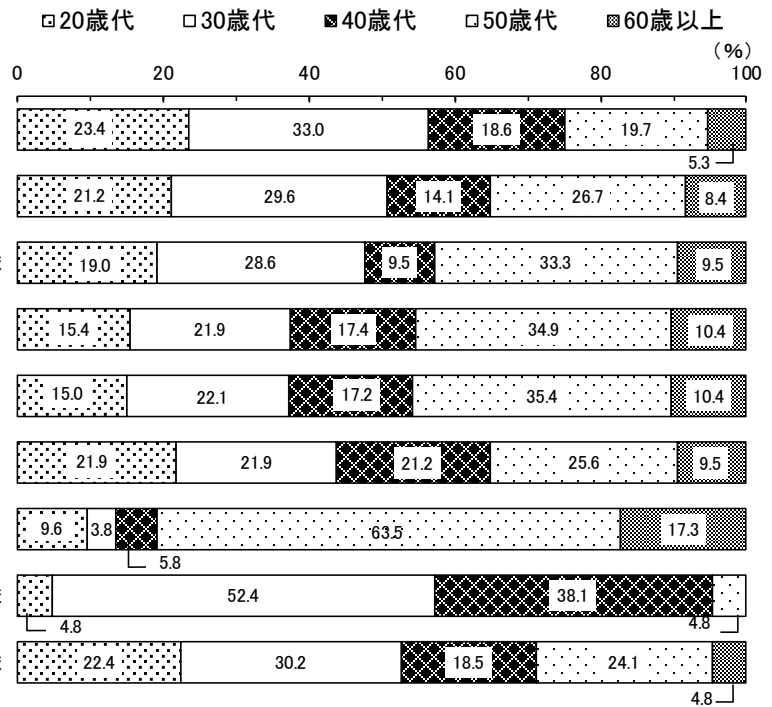


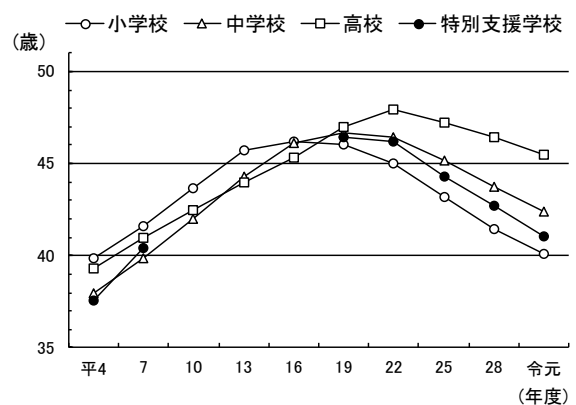
図3 学校種別教員の年齢構成



2 平均年齢の推移

学校種別に教員の平均年齢をみると、小学校の40.1歳が最も低く、次いで特別支援学校の41.1歳、中学校で42.4歳、高等学校（全日制、定時制及び通信制の合計）で45.4歳でした。令和元年度と平成28年度の教員の平均年齢を比較すると、全ての学校種で平均年齢が低下しました。

図4 学校種別教員の平均年齢の推移



第2表 学校種別教員の平均年齢の推移

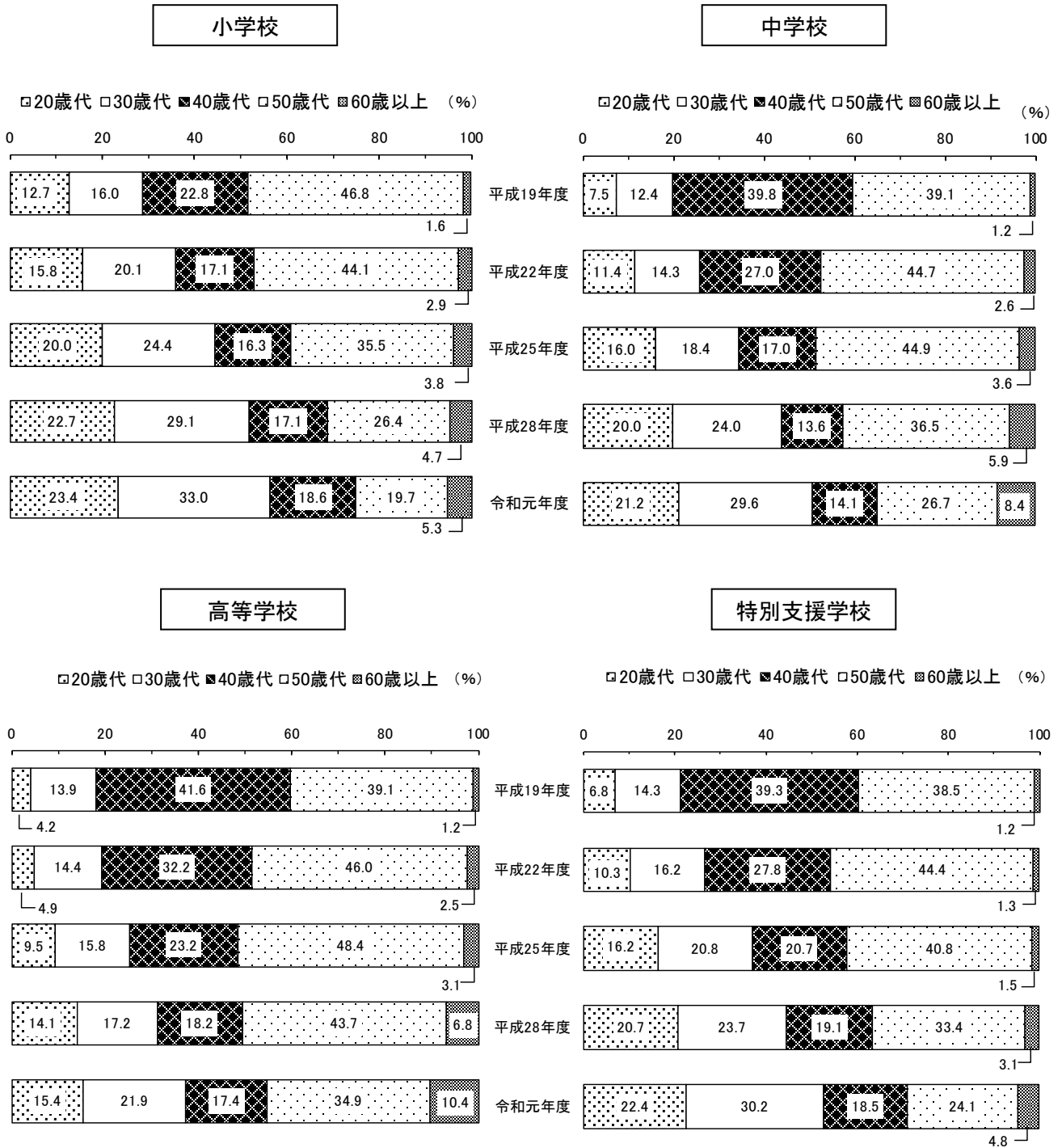
年度	小学校			中学校			高校(全・定・通)			特別支援学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成 4	41.5	39.0	39.9	38.9	36.6	38.0	39.8	37.6	39.3	38.8	36.7	37.6
7	42.6	41.0	41.6	40.7	38.5	39.9	41.6	39.0	41.0	41.5	39.4	40.4
10	44.3	43.4	43.7	42.7	40.8	42.0	43.1	40.4	42.5
13	46.1	45.5	45.7	45.1	43.0	44.3	44.7	41.9	44.0
16	46.5	46.1	46.2	47.0	44.5	46.1	46.2	42.7	45.3
19	46.7	45.6	46.0	47.9	44.7	46.7	48.0	44.2	47.0	47.7	45.2	46.4
22	45.4	44.7	45.0	47.9	44.3	46.4	49.0	45.0	47.9	47.8	44.9	46.2
25	43.9	42.8	43.2	46.5	43.5	45.2	48.2	44.9	47.2	46.2	42.9	44.3
28	42.2	40.9	41.4	44.6	42.6	43.8	47.3	44.2	46.4	44.4	41.5	42.7
令和元	40.6	39.9	40.1	42.9	41.7	42.4	46.4	43.4	45.4	41.9	40.4	41.1
対平成28年度	△1.6	△1.0	△1.3	△1.7	△0.9	△1.4	△0.9	△0.8	△1.0	△2.5	△1.1	△1.6

※ 平成10、13及び16年度の特別支援学校については公表されていない。

3 年齢構成の推移

平成19年度からの年齢構成の推移をみると、全学校種で40歳代の割合が大幅に減少していましたが、平成28年度以降は横ばいとなっています。50歳代の割合は平成28年度以降、全学校種で減少傾向にあります。一方、20、30歳代及び60歳以上の割合は、全学校種で増加しています。

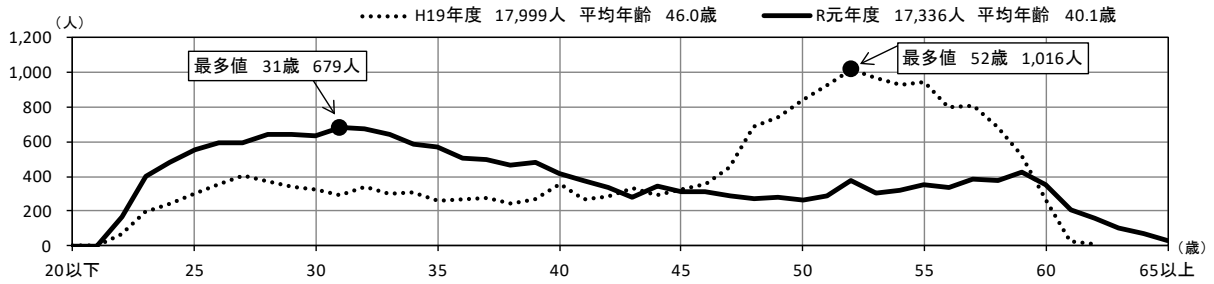
図5 年齢構成の推移



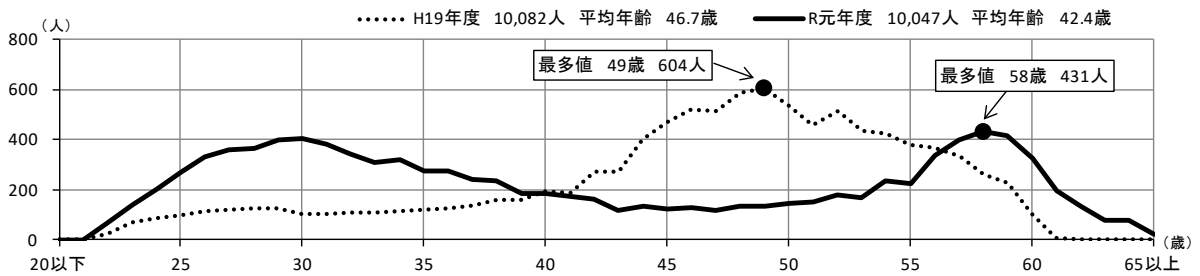
平成19年度と令和元年度を年齢別に比較すると、小学校と特別支援学校では、平成19年度は50歳前後に人数のピークがありますが、令和元年度は30歳前後に移っています。中学校と高等学校では、平成19年度は45歳から50歳にかけて人数のピークがありますが、令和元年度は55歳から60歳に移っています。

図6 年齢別教員数の推移（平成19年度との比較）

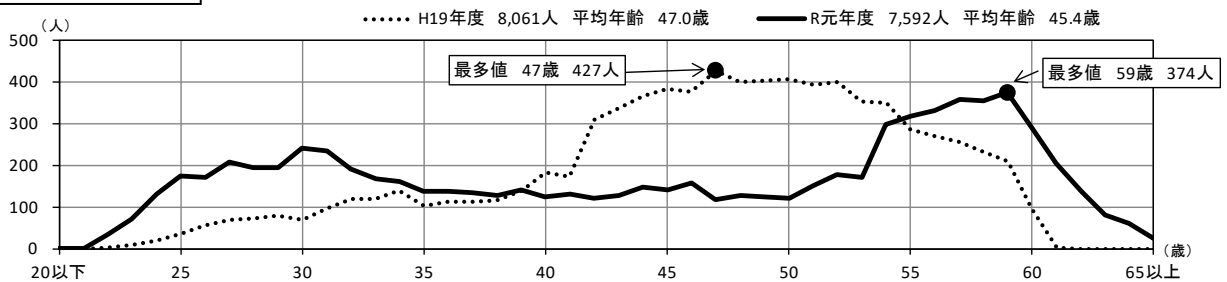
小学校



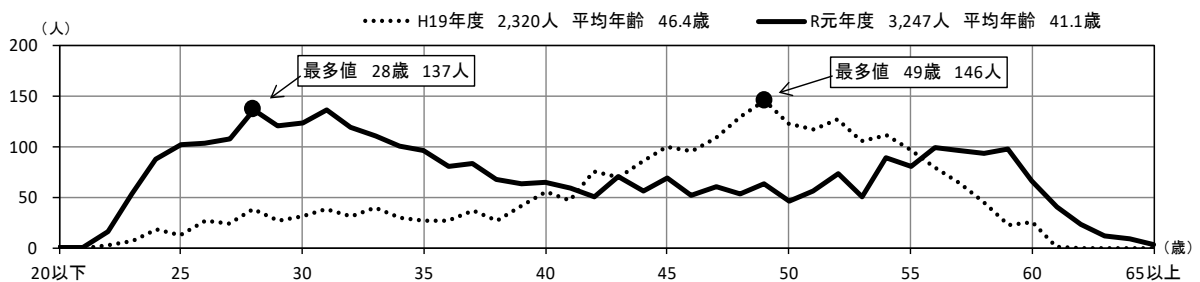
中学校



高等学校



特別支援学校



4 地域別市町村立小・中学校の状況

地域別に教員数をみると、最も人数が多いのは、小学校が南部教育事務所管内で全体の27.3%、中学校でも南部教育事務所管内で26.4%でした。

20歳代の割合が最も高いのは、小学校では東部教育事務所管内で24.9%、中学校では南部教育事務所管内で24.1%でした。

教員の平均年齢が最も低いのは、小学校が南部教育事務所管内で39.2歳、中学校でも南部教育事務所管内で41.0歳でした。最も高いのは、小学校が北部教育事務所管内で41.5歳、中学校が西部教育事務所管内で43.8歳でした。平均年齢の最高と最低の差は、小学校が2.3歳、中学校が2.8歳でした。

※ 市町村の地域については、8ページを参照してください。

図7 地域別教員数の割合

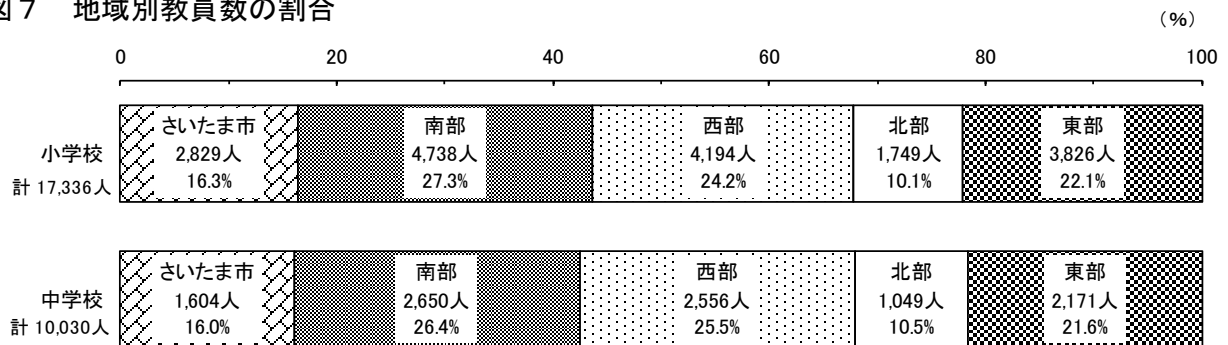


図8 地域別教員の年齢構成

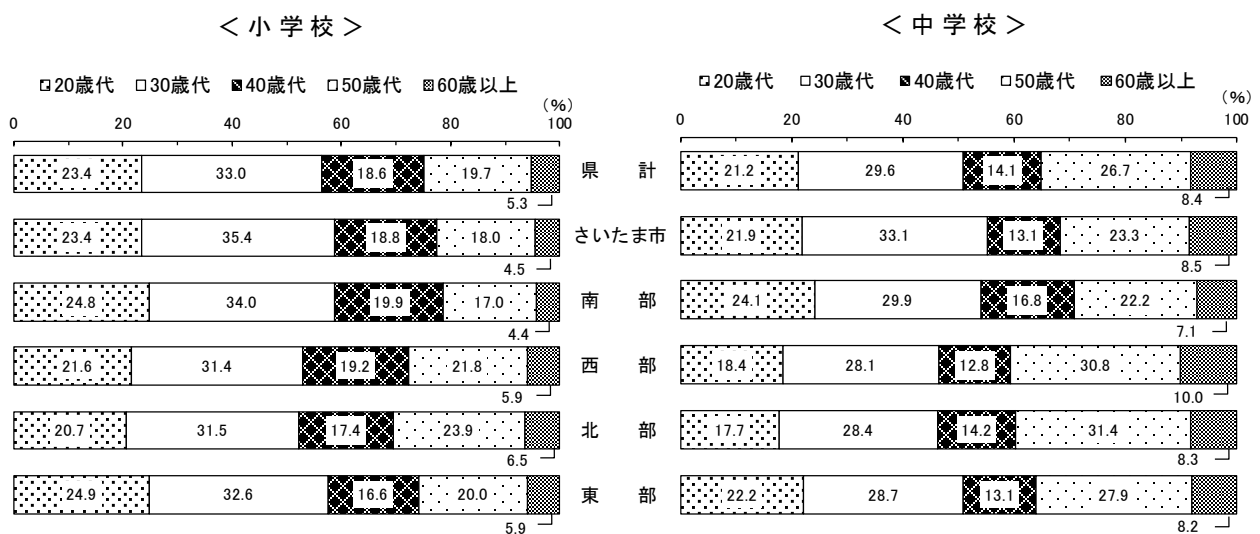


図9 地域別教員の平均年齢

